

令和3年5月14日

入院中の患者様のご家族へのお知らせ

医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院
院長 梅津 祐一

当院の医療スタッフに新型コロナウイルス感染症を生じたことにより、入院中の患者様やご家族にご心配やご迷惑をおかけしたことを心よりお詫びいたします。

新型コロナウイルス院内集団感染の経緯については、当院ホームページで今日まで5回、お知らせ欄で公表しましたが、改めてその経緯についてご報告いたします。

4月30日夕まで3階病棟所属で勤務していたスタッフが勤務後発熱し、5月1日かかりつけ医を受診し、PCR検査の結果陽性と判断されました。判明後すぐに（16時ごろ）病棟に連絡があり、至急で前日、前々日の濃厚接触者の同定を保健所の指導の下で行うとともに、接点のある患者様スタッフのPCR検査を開始いたしました。当初は「従来の濃厚接触者」の基準に合致した対象者はいなかったのですが、5月2日に接点のある患者様2名、スタッフ1名に陽性者が確認されたため、4月27日までさかのぼり、3階病棟に出入りしたすべての者にPCR検査を実施いたしました。5月6日にすべての検査が完了し、退院された患者様を含め患者様7名、スタッフ3名の陽性者の確認、さらに保健所から変異株の可能性が高いとの報告を受けました。

従来型と比べ変異株は感染性が極めて高く、陽性者と接触があった看護介護職員の8割以上を出勤停止とし、入院中の患者様には陰性の患者様にも感染拡大予防の観点から「濃厚接触者」でない方にもそれに準じた厳しい隔離対応をさせていただいております。

5月8日以降当初陰性確認した2名の患者様が発症され、今日現在12名の陽性者を確認しております。新型コロナウイルスの潜伏期は1~14日といわれており、この2名の患者様は新たな感染拡大によるものではなく、潜伏期を経た発症であると考えております。

また、地域医療が極めて緊迫している状況で、感染された軽症、中等症5名の方を、当院で治療をしている状況です。我々の病院はリハビリテーション専門病院でありながら、感染症専門医の指導の下、一日でも早く治癒されますよう全力で取り組んでいるところであります。元気にリハビリテーション訓練を頑張ってこられた陽性判定を受けられた患者様に対し、心身ともに大きなダメージを負わせてしまったことを心よりお詫び申し上げます。

感染拡大までに（5月2日）PCR検査で陰性を確認した患者様には、窮屈な隔離を長期間強いることになり、また入院目的であるリハビリテーションサービスの提供もできないことを心よりお詫び申し上げます。

今日で感染者判明後2週間となり、当初陰性であった患者様が発病されるリスクが少なくなる時期となりました。「終息宣言」は最終陽性者確認後2週間がひとつの基準になりますが、厳重な隔離が段階的にでも解放できるよう、保健所の指示指導の下対応していきたいと考えております。現時点では、集団発生当初陰性が確認され、その後2週間症状の発現がみられない患者様には、主治医が医学的に退院可能と判断された場合に限り、自宅への退院は可能になるものと考えています。現状では、他病院への転院、他病棟への転棟は難しいことをご理解いただければと思います。

今後も、引き続き、感染拡大予防に万全の対策を行い、一日も早い終息に向けて最大限の努力で取り組んで参ります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。